

## 本宮市都市計画マスタープラン（案）に関する市民意見について

パブリックコメントによる意見募集の結果を公表します。

平成26年12月1日から22日までの間、「本宮市都市計画マスタープラン（案）」について、意見募集を実施したところ、3名の方から10件の意見が提出されました。

貴重なご意見、大変ありがとうございました。

寄せられたご意見と、それに対する市の考えを取りまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 提出方法及び件数	持参	1件		
	電子メール	9件	合計	10件

### 2. 寄せられたご意見と市の考え方

#### 1. 都市計画マスタープランとは

##### 1. 策定の目的

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
総合計画の骨格となるPlanですので、将来にわたり効果的であり、且つ近未来像は実現可能なものであってほしいと思う。 すぐにでも行動すべき事項も都市計画に盛り込むことを提案する。	都市計画マスタープランは、総合計画等の上位計画や各種関連計画における方針をもとに、まちづくりの目標となる将来都市像を定め、その実現のための指針や方針を定める計画となっております。 そのため、この方針に基づく、個別の具体的事業計画については、別途進めることとなります。

## 1. 都市計画マスタープランとは

### 2. 計画の対象地域

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>白岩・稲沢・松沢・長屋地区を都市計画区域に指定すべきでないか。白沢総合支所や白沢公民館は、無指定地域でありながら隣接する白沢カルチャーセンターは指定されていて都市計画上の整備に差異があることは地域間格差を助長していること。更に秩序と均衡ある土地利用を図る上で市内全域を都市計画区域に指定すべきである。無指定とするならばその理由を知りたい。(3ページ)</p>	<p>都市計画区域に指定することで無秩序な開発を防止するというメリットはありますが、現状では新規開発は頻発していない状況にあります。また、住宅等を建替える場合などには新たに建築確認申請が必要となるため、敷地が道路に接していなければならないという義務が生じ、現状のままでは建替えができない事例が多く発生するデメリットも出てきます。さらには、同地区に隣接する市町村の地域も都市計画区域には指定されておらず、広域的視点からの整合性も図られなくなります。</p> <p>こうしたことから、都市計画区域に指定することは、現状としては困難であると考えています。</p>

## 2. 都市づくりの課題

### 4. 都市づくりの主要課題

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>過去の計画の実施状況と結果(効果)を一覧にまとめ、そこから導かれた計画である旨がわかるフォーマットにして欲しい。</p>	<p>都市計画マスタープラン資料編に、旧本宮町都市計画マスタープランの達成状況調査と市民アンケート調査結果のクロス分析を追加することとしました。(別添追加資料)</p> <p>本計画策定にあたりましては、この分析結果を踏まえ、継続すべき課題等を明らかにしたうえで、「都市づくりの主要課題」として整理しています。</p>

### 3. 全体構想

#### 1. 都市の将来像

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>本宮市の人口増につながるようなビジョンが少ないような印象である。もう少しインパクトの強いビジョンを策定してほしい。自然との調和しながら立地条件の良い個所には住宅用地として利用できるような道筋をつけておくべきではないか。農業振興地域とのせめぎ合いに屈せず市としての構想として押し通すべきではないか。例えば、安達太良ドリームライン沿線や主要地方道本宮熱海線沿線への住宅や工業団地立地構想は、長期ビジョンとして重要であると考え。 (47~59 ページ)</p>	<p>市の最上位計画である総合計画において、定住促進を重点プロジェクトとして位置づけています。本計画でも定住促進を目指した将来像を掲げており、中心市街地を中心として、白沢総合支所周辺や五百川駅周辺においても地域拠点と位置付け定住促進につながる機能の集積を図っていくことを示しています。また、交通の要衝としての利便性を活かした土地利用を推進するため、主要幹線道路を中心に工業等用地の確保や宅地化の誘導を図りながら、都市的環境と自然環境が調和する適正な土地利用を進めることを示しています。</p>

### 4. 部門別構想

#### 1. 土地利用の方針

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>この計画に追加いただきたい事項。(定住促進のための具体的施策)</p> <p>①現在市内で活躍企業の経営者に対し、開発指向企業の誘致を優先するために、無料でセミナーを開催する。その結果として、開発部門が少しずつ定着する企業になっていただく。</p> <p>②友好都市の上尾市から、本市に興味を示していただく企業を紹介してもらいそれらの経営者の方々を招待し、優遇策など説明会を開く。 優遇策として例えば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*優先的に工場や建家の設置場所を提供する。</li> <li>*社員の方々に、社宅となるべく住居を安価で提供する。</li> </ul> <p>③郡山市に展開中のロボット製造企業に対し、周辺都市では最も近い五百川駅周辺工業団地へも進出を勧誘する。</p>	<p>定住促進に繋げる施策の一つとして、雇用を創出する企業の進出は大変重要なことであると認識しています。</p> <p>本計画においても、雇用の創出のための工業等用地の確保や企業立地の推進などの取り組みを図っていくことを定めています。</p> <p>この方針をもとに、県内の動向や企業の意向を確認しながら、具体的な誘致産業や企業連携などの施策に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>ご提案いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

<p>岩根・関下地区の中の③地域資源を生かした活力づくりに関連した提案 (53 ページ)</p> <p>五百川駅～アサヒビール工場～工業団地の広がる地域を単なる工業団地ではなく、外部からたくさん人を呼べる観光拠点の側面を持つ工業団地に出来ないか。</p> <p>郡山の卸団地は月に1回一般の人にも販売して売上をのばしています。</p> <p>本宮の工業団地でもグンゼの工業直売やナカノ倉庫の衣料品の放出事などが開催されています。これらを定期的に共同開催（年数回でも可）していただいたら、時々アウトレットモールのような工業団地として、県内外からたくさんの人を呼ぶことが出来るのではないか。</p> <p>アサヒビール、東北協同乳業、東京インテリアも同時期にイベント開催していただけたらもっと魅力的になると思います。</p> <p>イベントスペースや駐車スペースのある工業団地として整備していただきたい。</p>	<p>人を呼び込むという観点からも産業活力の向上は必要であり、本計画においても工業等用地の確保や既存工業団地の機能向上を図っていくという方針を示しています。</p> <p>この方針をもとに、工業等団地の活用方法などを検討していくため、企業との積極的な連携を図っていきます。</p> <p>ご提案いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>
--	--

#### 4. 部門別構想

##### 2. 都市施設の方針

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>都市計画道路の変更は良いが、主要県道と重複する道路は、廃止でなく変更とすべきでないか。欠下から一ツ屋への道路は蛇行しており片勾配の路面で冬期間における凍結時には大変危険な状況である。良好な住宅地を形成する上では、高規格の道路に整備することが重要と考える。 (75 ページ)</p>	<p>県道石筵・本宮線の欠下～一ツ屋区間については、都市計画決定のルートでの整備は行われなため、廃止と位置づけました。</p> <p>なお、ご指摘の区間は、県が現在の道路に片側歩道を設置し、カーブと勾配を緩和することで、安全に配慮した道路改良計画を予定しております。</p>

## 5. 地域別構想

### 1. 本宮・高木地区

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>歴史的な建造物を保存したり、PR することも重要であるので、本宮映画劇場、歴史民俗資料館、大天狗酒造酒蔵等々を移築若しくは、模造移転し、後世に伝えるため保存することも必要ではないか。(41～46 ページ)</p>	<p>本市には、後世に伝えるべき由緒ある歴史的文化遺産が数多く点在しており、本計画でもその保全と観光資源としての活用についての方針を示しています。</p> <p>ご提案いただいたご意見は、参考とさせていただきます。</p>
<p>廃棄物処理施設(もとみやクリーンセンター)の老朽化に伴う移転改築構想と余熱利用の施設を整備する計画を織り込むべきでないか。(41～46 ページ)</p>	<p>現段階では、安達広域行政組合より移転計画や余熱利用施設の具体的な構想案等は示されておりません。</p>

## 5. 地域別構想

### 2. 青田・荒井・仁井田地区

### 3. 岩根・関下地区

意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
<p>本宮第2中学校周辺や神座運動場周辺の整備をしようとしている現状で、都市計画における位置づけの必要があるのではないのでしょうか。(47～56 ページ)</p>	<p>本宮第二中学校周辺や神座運動場周辺の整備それぞれの方向性については、地域別構想の地域づくりの方針で示しています。</p>

### 達成状況調査と市民アンケート調査結果のクロス分析

本宮市都市計画マスタープラン策定にあたり、日本宮町都市計画マスタープランに掲載されている各種方針等について、各担当課における達成状況の確認を実施した。

達成状況調査の各課の評価について、「概ね目標を達成した」4点、「積極的に取り組んできた」3点、「あまり手を付けられなかった」2点、「手を付けられなかった」1点とした加重平均を取り、『行政評価指標』とした。（「該当事業なし」の評価は除く。）

また、市民アンケート調査の問2（今まで展開してきた施策への市民満足度）について、「満足できる」4点、「まあまあ満足できる」3点、「あまり満足できない」2点、「満足できない」1点とした加重平均を取り、『住民評価指標』とした。

以上の方法により算出した『行政評価指標』と『住民評価指標』を散布図に落とし、日本宮町都市計画マスタープランの検証と課題の整理を行った。

